

**2015年4月1日～2023年3月31日の間に
札幌医科大学附属病院リハビリテーション科において言語聴覚療法を受けられた方へ**

—「脳疾患例におけるタイピング障害に対する前向き・後向き観察研究」へ
ご協力をお願い—

研究機関名 札幌医科大学附属病院

研究機関長 土橋 和文

研究責任者 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 石合 純夫

1. 研究の概要

1) 研究の目的

札幌医科大学附属病院リハビリテーション科において言語聴覚療法を受けられた方の、脳の病気によって生じるタイピング障害を調べて、タイピング障害の実態を把握することにより、タイピング障害のリハビリテーションと予後予測に貢献することがこの研究の目的です

2) 研究の意義・医学上の貢献

これまで札幌医科大学附属病院リハビリテーション科で言語聴覚療法を受けられた方の検査結果・リハビリテーション内容を把握する事により、現在言語聴覚療法を受けておられる患者さんの検査や追加治療の選択や、今後タイピング障害に対する言語聴覚療法を受けられる患者さんのリハビリテーション方法、リハビリテーション後の対応の参考にすることができます。この研究の成果は、タイピング障害の発症機序の解明及び新しいリハビリテーション方法発見のきっかけになり、患者さんの治療と健康に貢献できる可能性があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年4月1日～2023年3月31日の間に札幌医科大学附属病院リハビリテーション科において言語聴覚療法を受けられた方が研究対象者です。

2) 研究期間

病院長承認日～2025年3月31日

3) 予定症例数

2023年3月31日時点で、60人を予定しています。

4) 研究方法

2015年4月1日～2023年3月31日の間に当院において言語聴覚療法を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにタイピング障害に関連したデータを選び、タイピング障害に関する分析を行い、タイピング障害の生じるメカニズムについて調べます。

5) 使用する情報

この研究に使用するのは、大学病院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、診断名
- ・ 診察所見、失語症を含む高次脳機能などの検査データ
- ・ 言語聴覚療法内容
- ・ MRI あるいは CT 画像

8) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、紙に記録された内容は附属病院リハビリテーション部にある鍵のかかる言語聴覚療法室3に保管致します。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、臨床研究審査委員会（倫理委員会）にて承認を得ます。

9) 試料・情報の管理責任者

この研究で使用する試料・情報は、以下の責任者が管理します。

札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 石合 純夫

10) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

11) 研究に関する問い合わせ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2023年6月30日までの間に下記の連絡先までお申

し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続をして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

ご連絡頂いた時点が上記お問い合わせ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承下さい。

<問い合わせ・連絡先>

札幌医科大学附属病院リハビリテーション部言語療法係 氏名：若松 千裕

電話：011-611-2111 内線 57520（平日・休日・時間外）

ファックス：011-621-8059